

本資料は 2017 年 11 月 15 日付で技術諮問委員会より提出された報告書に対して、NRRC 所長より出した返信レターを参考までに原子力リスク研究センターにて仮訳したものです。正式なレターは英語版の原文のみとなりますのでご注意ください。

原子力リスク研究センター
一般財団法人 電力中央研究所
〒100-8126 東京都千代田区大手町 1-6-1

ジョージ・アポストラキス
NRRC 所長

2017 年 12 月 1 日

ジョン W. ステットカー氏
技術諮問委員会委員長

件名： 2017 年 11 月 15 日付報告書「2018 年度の NRRC 研究計画案」

ステットカー委員長

標記報告書において、委員会からは「2018 年度研究計画において注意を要する重要な研究ギャップはないと判断した」との見解が示された。こうした評価をいただけたことを大変ありがたいと思う。

我々の研究計画をレビューして頂く中での議論、および委員会から示された知見に感謝申しあげる。また、研究計画について「整合性」と「一貫性」が重要であるという指摘には同意であり、将来の研究計画策定においてその点に一層留意して進めていきたい。

敬 具

ジョージ・アポストラキス（本人署名）